

市では昨年度、「定住の里づくりアクションプラン」をもとに、平成28年度までを計画期間とする「第1次村上市総合計画後期実施計画」を策定しました。（8ページに掲載しています。）

この計画をもとに、今後4年間の各種施策を展開していきます。節目の年ともいえる平成25年度の施政方針をお知らせします。

節目の年となる平成25年度は・・・

- ・ 日本海東北自動車道 朝日まほろばICからあつみ温泉IC間の早期事業化に向けた官民一体となった組織づくり
- ・ 市民協働のまちづくり事業への支援強化
- ・ 市民憲章および仮称まちづくり基本条例の制定に着手します。
- ・ 厚生連村上総合病院の建設支援
- ・ 農商工連携や農林漁業の6次産業化及び地域ブランド化の確立
- ・ 定住人口の拡大に向けた支援施策の検討
- ・ 村上市行政改革大綱後期実施計画の推進に長期的に取り組んでいきます。

平成25年度における主要事業の取り組みについて次ページから紹介します。

# 支え合い安心して暮らせる思いやりのまちづくり

## 保健・医療の充実

- ・「健康むらかみ21計画」「村上市食育推進計画」に基づき、健幸バン菜運動や、歩こうむらかみプロジェクトなどを進めます。
- ・「歯科保健計画」を策定し、歯科保健事業を積極的に展開します。
- ・自殺率が比較的高い本市において、効果的な予防対策を推進するため、庁内に検討組織を設置します。



- ・国民健康保険事業については、インフルエンザ予防接種費用の一部助成や特定健康診査における個別健診料の個人負担の引き下げを実施します。



## 地域福祉の形成

- ・地域住民や民間組織等と連携しながら、ボランティア意識の醸成など、地域の支え合いによる福祉を推進します。

## 高齢者支援の充実

- ・「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、街中お年寄り愛所<sup>あいじよ</sup>による地域との連携づくりや要援護老人安否確認事業を拡充します。
- ・地域や各機関と連携・連続したサービスに取り組む「仮称地域ケア・ネットワーク会議」の設置を目指します。
- ・入所待機者の解消に向け、地域密着型特別養護老人ホームと認知症高齢者グループホームを整備します。
- ・高齢者などに対する除雪費援助事業を継続して実施します。



## 障がい者支援の充実

- ・地域の中で安心した生活が送れるよう、引き続き関係機関と連携を図りながら、支援体制を構築します。

## 子育て支援の充実

- ・「村上市子ども・子育て支援事業計画」の策定作業に着手します。
- ・乳幼児健診や育児相談などによる育児不安の軽減、健康な身体づくり



- ・定期予防接種へ移行が予定されているヒブワクチンおよび小児肺炎球菌ワクチンの予防接種を、全ての対象者が接種できるように周知します。
- ・子どもの医療費助成の対象年齢を中学校卒業時まで拡大し、経済的負担の軽減を図ります。

- ・「村上市保育園等施設整備計画」に基づき、計画的な施設整備に取り組むとともに、学童保育所における対象年齢の拡大やファミリーサポートセンターの新設により、子育て環境の整備を図ります。

## 生活支援の充実

- ・生活保護受給者数が増加傾向にあるため、個々の状況に応じて指導・助言を行い、就労支援の充実を図ります。

## 平等社会の推進

- ・「人権教育・啓発推進計画」の策定に着手します。
- ・「第1次村上市男女共同参画計画」に基づき、各種事業を展開します。



### 主な事業

●保健・医療の充実	●障がい者支援の充実
歯科保健計画の策定【新規】	障害福祉サービスの充実
270千円	935,035千円
中学生以下のインフルエンザ予防接種の費用助成	●子育て支援の充実
2,400千円	子ども・子育て支援事業計画の策定【新規】
●地域福祉の形成	2,433千円
社会福祉協議会への事業支援など	ファミリーサポートセンターの新設【新規】
86,514千円	2,919千円
●高齢者支援の充実	学童保育の実施(対象年齢を6年生まで拡大)
要援護老人の安否確認の実施	68,879千円
778千円	子どもの医療費助成(対象年齢を中学校卒業時まで拡大)
高齢者など除雪費援助事業の実施	137,363千円
3,184千円	

# 自然と景観を守る環境に優しいまちづくり

## 自然環境の保全

- ・住宅用太陽光発電システムおよび木質バイオマスストーブの設置補助を引き続き実施します。
- ・電気自動車の普及に備え、充電施設を朝日および神林道の駅に設置するほか、本市の地域特性を生かした新エネルギーの導入について、計画的・総合的に推進します。



## 生活環境衛生の確保

- ・ごみの減量化、リサイクル率の向上を目指すとともに、し尿収集業務について、4月1日(日)から全域で収集方法を統一し、各地区により異なっていたる手数料を統一します。
- ・新ごみ処理場の建設事業について、本年度から建屋の建設工事に着手し、平成26年度末の稼働に向けて事業を推進します。

## 上水道整備の推進

- ・上水道事業について、村上地区と荒川地区で拡張事業を継続します。

### 主な事業

- 自然環境の保全  
新エネルギー推進への支援 25,817千円
- 生活環境衛生の確保  
新ごみ処理場の建設 2,642,054千円
- 上水道整備の推進  
村上・荒川地区拡張事業 321,437千円
- 汚水処理対策の推進  
村上・荒川処理区管渠布設事業 1,568,000千円

# 活気に満ちた輝くにぎわいのまちづくり

## 農業の振興

- ・「人・農地プラン」を適切に実行し、新規就農者の定着に向けて支援を推進します。
- ・新潟県グリーン・ツーリズム大会を村上・岩船地域で開催し、農村地域の活性化に結び付けていきます。
- ・サルによる農作物被害について、電気柵設置に対する補助を拡大します。

## 林業の振興

- ・「森林・林業再生プラン」により、森林林業に対する支援を継続します。
- ・村上市産材利用住宅等建築奨励事業と越後スギブランド材の普及により、地域産材の需要拡大を図ります。

## 水産業の振興

- ・桑川漁港整備事業を計画的に推進します。
- ・本年は江戸時代に鮭の自然保護増殖に取り組んだ村上藩土青砥武平治の生誕300年祭を開催し、「鮭のまち村上」をPRします。

## 商工業の振興

- ・多くのメニューを揃えた産業等の活性化支援補助制度の活用を積極的にPRします。
- ・市制度融資については、新たに県小口零細企業保証制度資金の信用保証料への補給を実施し、中小企業者の負担軽減を図ります。
- ・企業誘致について、粘り強く取り組みを進めるとともに、企業設置奨励条例が、企業にとってより活用しやすい制度となるよう研究を進めます。

## 観光の振興

- ・「プロステイネーションキャンペーン」のプレキャンペーンについて「つまさぎつしり村上春のキャンぺーン推進協議会を中心に準備を進め、村上の春をしっかりとPRします。
- ・玄関口であるJR村上駅前町屋造りの観光案内所を建設し、まち歩き観光の魅力の向上に



### 主な事業

- 農業の振興  
新規就農総合支援事業交付金 30,000千円
- 林業の振興  
村上市産材利用住宅等建築奨励事業補助金 16,000千円
- 水産業の振興  
青砥武平治生誕300年祭の開催【新規】 2,000千円
- 観光の振興  
村上駅前観光案内所の建設【新規】 51,111千円

- つなげます。
- ・物産の振興については、首都圏でのイベントに参加するなど、販路拡大を目指します。

## 就業・雇用支援

- ・ハローワーク村上や岩船郡村上市雇用対策協議会と連携し、市内企業へ雇用拡大の働きかけを続けます。
- ・県の緊急雇用創出基金を活用した事業を実施し、雇用創出を図ります。
- ・勤労青少年ホームを活動拠点とする村上地域若者サポートステーションと連携し、若者の自立支援に取り組みます。



## 安全で快適な住みよいまちづくり

### 道路の整備

- ・日本海東北自動車道「朝日まほろばIC」からあつみ温泉IC間の「早期事業着手」に向け、運動を展開します。
- ・市道桃川牧目線などの幹線交通網の整備を継続します。
- ・路肩の拡幅や未舗装箇所の整備等、通学児童、高齢者などに配慮した歩行空間の確保などに努めます。

### 河川・排水路の整備推進

- ・滝矢川、稲耕地沢川などの河川改修工事を継続実施することにも、住宅地域の浸水被害の早期解消を図るため、岩船備前屋排水路の整備を推進します。

### 港の活性化の推進

- ・岩船港について、港を活用した地域活性化手法の検討のため、周辺区域一帯の土地利用を含めた調査事業に着手します。
- ・船舶の安全航路確保や海岸部における浸食対策事業の整備促進を図り、県に強く要望していきます。

### 安全なまちづくりの推進

- ・「暴力団排除条例」を制定し、安全で安心して暮らせるまちづくりの実現に向けた取り組みを進めます。
- ・管理が不十分な空き家および空き地について、「空き家等の適正管理に関する条例」を制定し、安全安心なまちづくりを進めます。



- ・津波ハザードマップを作成し、避難路整備および看板の設置などを年次計画で進めます。
- ・村上地域の防災行政無線戸別受信機のデジタル化を計画的に進めます。
- ・常備消防では、消防救急無線デジタル化工事に着手します。
- ・非常備消防について、消防団の組織および定員の見直しを視野に入れながら、団員の確保に努めます。

### 高度情報化の推進

- ・上海府地区および伊弉野集落に超高速ブロードバンドサービスの提供を行います。

- ・更新時期を迎えた情報基盤告知端末機について、維持管理コストの削減に配慮し、計画的に更新していきます。今年度は、朝日地区で告知端末機の更新を行います。

### 良好なまちづくりの推進

- ・都市計画道路泉町羽黒町線について、歴史的な町並みを生かした整備手法について、地域と相談していきます。
- ・長寿命化計画に基づき、公営住宅の適正な維持、保全に努めます。
- ・「村上市景観計画」の事業実施に向け、条例などの整備を進めます。
- ・村上地区の旧町人町における伝統的建造物群保存地区指定に向けて「歴史まちづくり法」とあわせて整備手法を、さらに検討します。

### 公共交通の充実

- ・実証運行の結果を踏まえ、見直しを実施し、交通空白区域の解消を目指します。
- ・既存路線バスについて、利用者の状況調査を実施し、新たな運行方法の検討を進めます。

### 主な事業

●道路の整備 市道桃川牧目線などの改良工事	109,270千円
●河川・排水路の整備推進 岩船備前屋排水路改修工事	89,800千円
●港の活性化の推進 岩船港周辺区域整備計画検討調査【新規】	3,000千円
●安全なまちづくりの推進 津波ハザードマップ全体版の作成【新規】 防災行政無線戸別受信機デジタル化整備工事【新規】	2,993千円 191,459千円
●高度情報化の推進 消防救急デジタル無線整備工事【新規】	350,600千円
●良好なまちづくりの推進 光ファイバ網整備事業補助金【新規】 伊弉野集落光ケーブル敷設工事【新規】 朝日地区告知システムの更新【新規】	9,900千円 9,163千円 26,518千円
●公共交通の充実 景観計画の条例などの整備 デマンド型交通などの実証実験	3,522千円 38,523千円

## 豊かな心と文化を育むふれあいのまちづくり

### 学校教育の充実

- ・「郷育会議を中心とした学校、家庭、地域を結び取り組みの充実を図り、地域全体の教育力の向上に努めます。
- ・教材、図書などの整備や外国語指導助手、教育補助員などの配置によるきめ細かな指導体制を整え、学力の向上を図ります。
- ・キャリア・スタート・ウィーク事業や介助員の配置による特別支援教育の充実、いじめおよび不登校問題への対応に引き続き取り組みます。
- ・学校施設について、安全で快適な学校生活を送れるよう、また、災害時の指定避難場所としての機能も果たせるよう改修を進め、将来の教育環境のあり方についての検討に着手します。
- ・本年度は、村上小中学校などの耐震補強・大規模改修事業を進めるとともに、施設の計画的な耐震診断を実施します。



## 生涯学習の充実

・本年2月に完成した村上市生涯学習推進センターで、新たな学習の場や機会・情報を提供し、隣接する教育情報センターとの一体的な利用により、本施設を拠点に全市的な社会教育の推進を図ります。



・図書館、図書室  
 について、蔵書の充実とあわせ、より良いサービスの向上に努めます。

・幼少期から青年期まで一貫した支援を目指す、「子ども・若者育成支援推進法」に対応する体制づくりに着手します。

## 文化・芸術の振興

・村上、岩船、瀬波大祭を対象とした無形民俗文化財調査に着手します。

・村上城跡の石垣整備や、平林城跡の遺構顕在化事業を計画的に実施します。



### 主な事業

- 学校教育の充実  
 村上小学校校舎耐震補強・大規模改造工事【新規】 306,201千円
- 生涯学習の充実  
 子ども・若者育成支援の推進【新規】 482千円
- 文化・芸術の振興  
 無形民俗文化財調査【新規】 2,025千円
- スポーツの振興  
 荒川テニスコート改修工事【新規】 45,000千円

## スポーツの振興

・地域の推進役となるスポーツ推進委員の拡充とスキルアップを図ります。

・総合型地域スポーツクラブについて、未設置地区への年度内設立を目指し、準備を進めます。

・「村上市スポーツ施設整備計画」に基づき、計画的に施設整備を図ります。

・第34回北信越国民体育大会ソフテニス競技会が荒川テニスコートで開催されることから、テニスコートの改修工事を実施します。

・スポーツ選手など著名人が講師となる、特別授業「夢の教室」を開催します。

### 主な事業

- 行政サービス改革  
 行政改革推進委員会の開催 1,027千円  
 市勢要覧の作成【新規】 492千円  
 ホームページのリニューアル【新規】 8,830千円

## 簡素で効率の良い行政経営

・健全財政の維持を図りながら更なる行財政改革の推進を図ります。

・職員数の定員管理について、引き続き退職者数の3割補充を基本とし、職員総数を抑制していくとともに、外部研修など新たな研修制度、再任用制度の導入により、職員の資質および技術の向上を図り、よりよい住民サービスの提供に努めます。

・市ホームページについて、メール配信機能の充実を含めて全面的にリニューアルし、迅速で分かりやすい行政情報の提供に努めます。

## 市民と行政の協働による行政経営

・各地域まちづくり組織への支援を積極的に推進します。

・活動支援について、各組織の活動拠点施設の確保に向けた協議を進める

・地域元気づくりを支援する地域おこし協力隊制度や、集落支援員制度の導入に向けた制度設計に着手し、平成26年度から導入できるように準備を進めます



・地域まちづくり交付金を総額6千万円に増額し、まちづくり組織の運営や活動を支援します

・市ホームページや元気マガジンで地域の情報などを伝え、地域間交流の活性化を進めます。

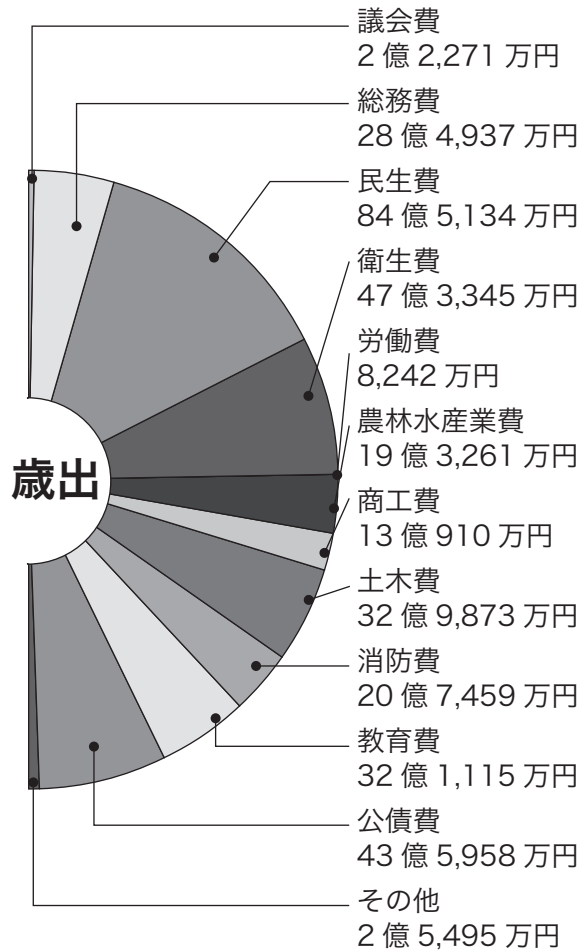
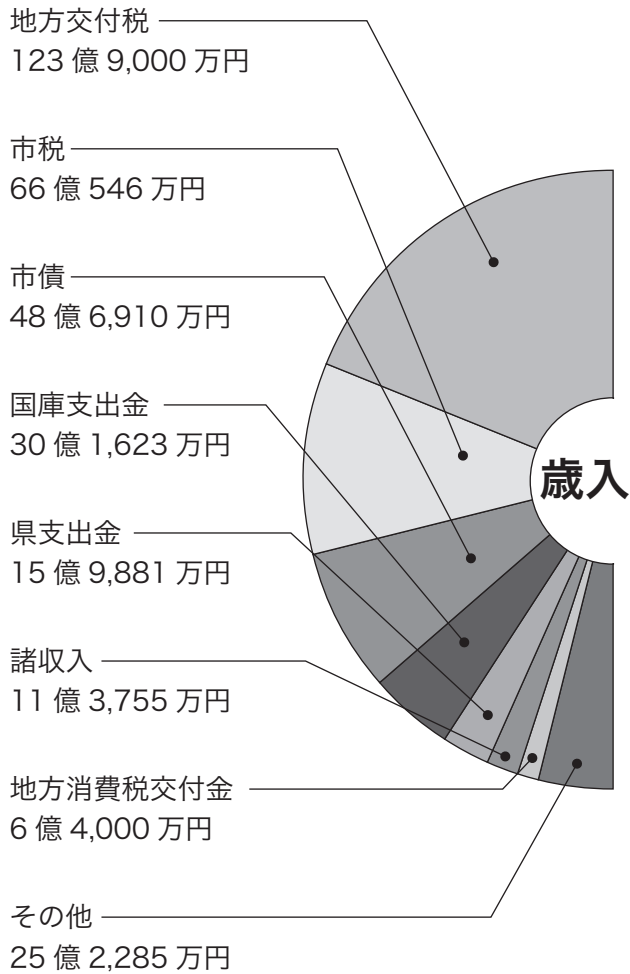


### 主な事業

- 協働のまちづくりの推進  
 市民憲章および仮称まちづくり基本条例の制定【新規】 1,081千円
- 地域まちづくり交付金による地域組織の活動支援 60,000千円
- 各町内・集落の集会施設整備への支援 15,605千円

# 一般会計 327億8,000万円

(前年当初比8.9%増)



## 市の財政状況は・・・

平成23年度決算では、財政の健全化判断比率4指標のうち、実質公債費比率は17.5%、将来負担比率は167.0%となっています。実質赤字比率および連結実質赤字比率については該当がなく、4つの指標の早期健全化基準はクリアしています。

しかしながら、本市の財政力を示す財政力指数は0.384（平成24年度）で、前年度より下がり、地方交付税などの依存財源に頼らざるを得ない部分がより大きくなっています。

こうした厳しい財政事情の中ではありますが、総合計画の後期実施計画（平成25～28年度）にあわせ、地域の魅力を活かし、市民協働による活力あるまちづくりの実現に向けた予算編成を行いました。

## 【特別会計】224億5,883万円（前年当初比1.9%減）

会計名	当初予算額	前年当初比
土地取得	23万円	▲39.5%
情報通信事業	3億5,300万円	12.1%
葡萄スキー場	720万円	▲74.5%
国民健康保険	77億2,600万円	▲1.5%
国民健康保険診療所	50万円	▲97.1%
後期高齢者医療	6億3,380万円	▲1.3%
介護保険	70億2,800万円	2.6%
介護サービス事業	廃止	皆減
下水道事業	50億3,890万円	▲5.6%
集落排水事業	9億3,700万円	▲10.0%
簡易水道事業	7億3,420万円	▲4.5%

## 【上水道事業会計】

区分	収入	支出
収益的	9億9,092万円	9億1,716万円
資本的	4億6,564万円	12億2,856万円